

鉄骨階段製作工場見学会 後記

2021年11月26日(金)

株式会社東北開発コンサルタント

細山由一

1. はじめに

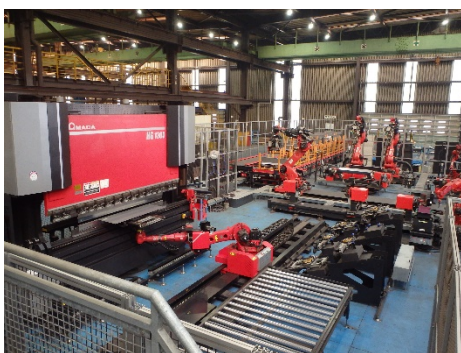
2021年11月26日に株式会社横森製作所いわき工場にて行われ、18名が参加しました。

鉄骨階段を設計はするものの工場を見学するのは初めてで、非常に楽しみに参加しました。

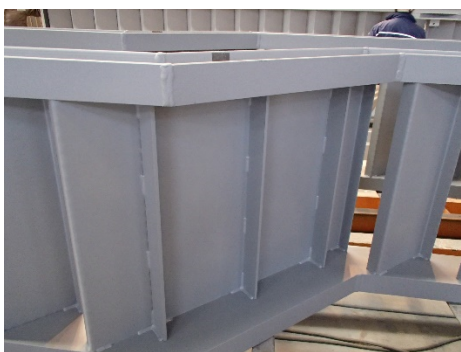
2. 研修内容

JSCA 東北支部技術委員長 奥山様から挨拶をいただき、横森製作所いわき工場長谷川様から工場見学前の工場の規模、従業員数、製品説明等の説明を受けました。工場は187mx95mで、切断、組み立て、塗装等のブロックがあり製作している事が分かりました。

説明終了後、2班に分かれ工場見学がスタートしました。



工場内では、切断、組み立て共ロボット化が進んでいて、効率化が進んでいることを感じられました。

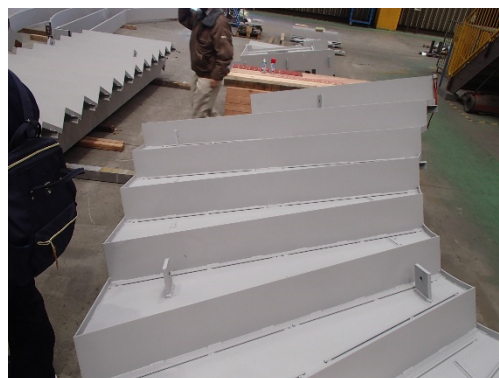


踊り場の座屈止めは慣例からL型鋼を使用していました。フラットバーが使用されており、今後使用してみたいと感じました。

踏板は薄板，大きくなる場合は根太を配置していましたが板厚を厚くして対応している階段もあり，規模の違いによる階段の構造の広さを感じました。

ササラ桁もフランジのみが厚くなっている H 形のものや，廻り階段の加工も工場で見ることができました。

製品の DYS-M, DYS-P の階段を実際に使用しました。M は段床にモルタルを詰めているもので，P は段床を 2 枚貼りにしたものです。それぞれの階段で飛び跳ねて確認しましたが，振動が全く違い，剛性がある階段のすばらしさを体感できました。



左側の階段が DYS-M（モルタル充填型）
右側の階段が DYS-P（鋼板 2 枚貼り）
M は剛性があり，振動も小さく，音も小さい

3. まとめ

鉄骨階段で感動することができました。今後の設計活動の中で今回の経験を生かせるようにしていきたいと思います。

4. 謝辞

今回の見学会を快くお受けいただいた横森製作所いわき工場様に心より御礼申し上げます。